

Knob Module

M10では5ノブ、M40では9ノブまで拡張できるKnob Moduleは同様に32色のバリエーションを持つ。プロセスモジュールで呼び出した機能をダイナミクスなら緑、EQなら紫といったように一括した色情報で現状のアサイン状況を確認できる。OLEDによるパラメータ表示は視認性を確保し、プラグインからAUX SENDまで幅広いコントロールが可能。



Visual FeedBack

波形表示・チャンネル名表示・カラーコード
DAW画面を注視することなくサウンドと対面

Network

先進の技術革新はNetworkがもたらす
柔軟な接続性が進化のキーワード

Process Module

Knob Moduleへのアサインをコントロールするなど、チャンネルストリップのステータス設定を担うモジュール。PANポットはこちらに備えられ、他のモジュール同様にOLEDでの表示となる。



Fader Module

フラッグシップとなるSystem5と全くの同一となる100mmフェーダーを採用。ブラシレスモーターによる動作は静音に秀でるプロフェッショナルな仕様だ。トラック名はOLEDで表示し視認性を確保、フェーダー脇にはステレオメーターのほかゲインリダクションも表示可能な32ポイントLEDを装備。最下部には32色のバリエーションとなる表示LEDが備る。



Ergonomics

スイートスポットを動かさずにミキシングに集中できるサイズ感に徹底的なこだわり

Module Design

必要な機能を、必要な分だけ。プライベートスペースから、商業スタジオまでカバーするコンセプト

Automation Module



Master Moduleの下部に位置する事となるオートメーションモジュールはトランスポートとオートメーションの切り替えを担うモジュール。TCもここで表示される他、任意の1チャンネルを呼び出せるフォーカスフェーダーを装備。作業対象を呼び出しておく事によりスイートスポットを外す事無く作業に集中できる。JOGホイールはICONと同様にロケータ、ズームIN/OUTの操作も可能なマルチファンクション仕様。

Master Touch Module

マスターセクションとなるM10/40、M10はベーシックな機能を有しモジュールの構成もFIX、24フェーダーまでのシステムと制限されるが、M40はフルカスタマイズが可能な上位機種となりディスプレイモジュールへ対応、DAWの同時使用も8システム、64フェーダー/9ノブまで拡張可能となる。また、M10/M40には右下にモニターセクションが備えられ、そのI/Oは実績あるX-MONが同梱となる。



メイン・エンジン	S6 M40	S6 M10
対象ユーザー	拡張性とカスタマイズの自由度が求められるハイエンドスタジオ	予算を抑えたい小規模から中規模のスタジオ
モジュールの最大数	41	9
フェーダーの最大数	64	24
各チャンネルの最大ノブ数	9	5
ワークステーション同時対応数	8	2
高解像度S6ディスプレイモジュール対応	Yes	No
構成	事前構成とカスタム構成	事前構成、カスタマイズ制限あり

Display Module

M40を擁するシステムで構成可能となるディスプレイモジュール。従来のコンソールを超える情報量はフルレンジスの表示から複数メーターの表示までフレキシブルに対応出来る。特にProToolsセッションと連動したカラー表示と波形表示はミキシングの進行が一目に取れ、どのトラックに何の音がやってくるかを把握できる。また、大型のディスプレイにはフルレンジスのメーターも表示可能でDAW上よりも精細なミックスを実現する。73%のユーザーがProTools内のみでミックスする(Avid調査)というが、その作業の大きなサポートになることは間違いない。なお、ディスプレイ表示はモジュールのCPUを使用するためProTools側に負担を掛けない仕組みとなっている。

